

一發	印	膠	定
----	---	---	---

以下出席後藤外相より對支外  
方針を陳述せり（東京電報）  
十七日朝新義州發批靚驛に  
場に向ふ批靚驛にて特派員發電

依り政府は他に然るべき方法を講ずることゝ成るべし朝鮮にては百

に相違なきも損益勘定は豫  
 想し難き一種の商行爲にして

を俟たずとするも必ず存在せざるべし。人からざる底のものに非ず之

事務所の必要なるは自明の事  
て敢て

しす何んとなれば事務所は單  
の監察機關たるに止まらず

市場秩序を維持し或は清浄整頓  
しむる等を意味す

▲富田信作氏(實業家) 廿七  
▲河本登氏(楚山塾重陽院長)  
(大邸同)▲石丸文七氏(公州)

入京浦尾へ 止めば水路を批脱から船で  
松本鑒正氏 しと云ふに傾きかけてはる  
▲秋田彰彰 四時認たむ

式を興へ  
二十六日











第八十八

待衛たる京師主水が、主左内侍殿上に坐らち、劔先切つて落し、つゝと叫んで躍出だしたる有様は、宮越左内大に驚ろき、左きては、汝は主水なるか、耐參の供先を遮ぎる無禮者、速やかに其處を退げよ。主無禮呼はり片腹痛なし、汝の手に懸つて無禮の最期を遂げたる舍弟之丞の敵、其のめならず怒逆上意と稱し、此主水の面を傷けたる憎き奸者、重なる恨み御家の惡人、汝を討つて奸人隊役の血祭にする觀念せよや」と言もたらせ、鎧笠取つて後ろへ投げて、一刀スリと援魔つて罵前へ立襲がった。左やア推參なり



◎津村兄弟商會

之添報を殺した兄左内が主水殿  
手に懸るは鷹報の道理、之れに  
一挺、又姉妹の仇は三軒長屋  
に、いよいよ早く敵を打つて父  
や母上の冤魂を慰めねばなら  
其れにしては君の御道要を受け  
居ては思ふ儘にならず、うして  
御所を抜け出で身の振方をつけ  
ばならぬと覺悟を練ぬた白妙が  
然に妹の伊勢を呼んで心底を  
彼の祇王祇女が清盛の節を明  
故事に慣ひ、室町御所を忍び出  
るといふ一條。

當惑する人に

帝國醫科大學特命製劑  
者たりし赤井先生の考  
案に成る薬化學應用療  
法は効力卓絶にして在  
來行はるゝ自宅療法と  
趣を異にし専ら使用の  
安全簡易經濟を主と  
せる最善良法なり

**無代進呈**

ハガタに必ず病名を記して賜  
會方には「彩色圖入の詳細解説  
書非賣品」直に送附を呈す  
東京市所向島小堀町二貳三

**東京薬化學研究所**

明治町千石  
岡村介之堂

大正

[illegible]

氣沸くが如く

浪花館

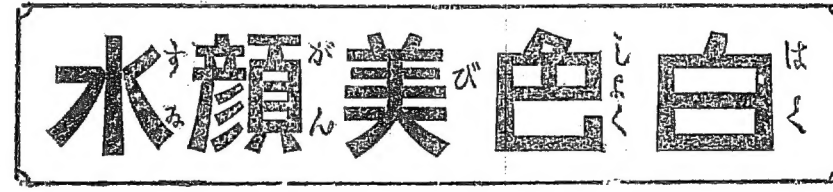
公同  
活劇

帝尊活潑  
 大活潑  
 狐兒物語二滴の水五卷  
 山賊と昔時人全三巻  
 アリス君と選抜 第五十一號

趙甲 張乙 李丙 王丁 吳戊 孫己 周庚 鄭辛 馬壬 劉癸 馮甲 陳乙 黃丙 林丁 楊戊 郭己 何庚 呂辛 施壬 張癸 趙甲 張乙 李丙 王丁 吳戊 孫己 周庚 鄭辛 馬壬 劉癸 馮甲 陳乙 黃丙 林丁 楊戊 郭己 何庚 呂辛 施壬 張癸

[illegible]

# 形花の料粗化



水<sup>すゐ</sup>顔<sup>がん</sup>美<sup>み</sup>色<sup>いろ</sup>白<sup>はく</sup>

米國製 特殊自働インキ含裝置。パインビジネスペン  
正十四金ペン 創案

進歩的經濟的文房具 平常使用の『ペン』先に金製のものを使用  
の需要に如きは 用『ペン』先を嵌する軸一本ナイト製に到りては唯  
あるのみ前裝置せし『特殊創案の鉄入物によりて金ペン先  
の背後に嵌するハのみ含ますれば宜く數頁の使用に  
耐久力に於けるハの含ますれば宜く數頁の使用に  
耐ゆる 類する理想的の前各銀行會社官廳密納たり  
賣捌元 京城太平通 京城日報社代理部  
鐵管三〇〇番

定價 金壹圓九十五錢

資本金  
 積立金  
 總預金  
 貳千貳百七拾萬圓  
 壹千貳百拾萬圓  
 貳億貳千六百萬圓  
 京城本町二丁目  
 振替貯金  
 電話  
 六二一  
 二二一七番

株式會社  
 第一銀行  
 支店

頭取  
 佐々木勇之助  
 支配人  
 西村道彦

イケダ小兒病內科醫院  
 京城三樓吳服店前へ入る旭町四丁目  
 電話  
 院院二二〇四番  
 自宅三〇〇三番

池田季雄

▲マア何といふ人好のなさる方てせうと

様な方々のお好みは、萬事が自然に  
 態さらしめ所が無くスツキリとし  
 もので御座います。わけてもお化粧  
 の事になります。斯ういふ方々  
 殊に自然の姿はばれます所か  
 現に人氣の益々盛になつてゐる日  
 美顔水が賞用されるので御座いま  
 事實今日

◇陸でも褒められる

この美顔原料が肌の生地を整へ、  
理をよくしてお顔の美しさを充分  
發揮す所へ、此珍らしい白粉がス  
リニ延びて、高尙に品よく輝く様  
に出てゐるからで御座います。そ  
に此化粧料は

◆色の黒い質の方

ニキヒ吹出物とばかす等の多い方

◇**相当な御家庭で**

白色美醜水をお置にならない所は  
 色無いに申せられ程で舞座います  
 べれば白色美醜水でなすつた  
 色に比べは、從來の白粉な  
 ごとくあつた白ペンキちみ  
 大白になつたり、然うかこ  
 思ふさまに斑になつたりジダ  
 くなつたりと言ふ様な事が  
 絶對に無く、極めて自然で  
 生れつきの色白に足跡ふばかり  
 り、眞から美しく高麗で



ます。されば白色顔水は美肌白  
 ミ共に貴き御方々の御用を辱な  
 賽園女校の野球ぶり。打手はモロド。  
 子エイン様。袖手はヤエアニタハシ  
 セン様

美顏化粧料  
發賣元  
桃谷順天館





刊朝日八十二  
(頁八をせ併と刊朝日)

### 獨逸の産業並に 商權擴張策(七)

獨逸の産業並に商權擴張策(七) 賀田直  
獨逸の産業並に商權擴張策(七) 賀田直  
獨逸の産業並に商權擴張策(七) 賀田直

### 母の改良(一)

母の改良(一) 李範昇  
母の改良(一) 李範昇  
母の改良(一) 李範昇

### 植民政策(二)

植民政策(二) 賀田直  
植民政策(二) 賀田直  
植民政策(二) 賀田直

### 井上圓了博士

井上圓了博士 賀田直  
井上圓了博士 賀田直  
井上圓了博士 賀田直

小學校卒業生  
行の中學講義録に就て  
目下入會の絶好時期也

## 大日本國民中學會

大日本國民中學會 雄行崎尾 呈進中書則規本見録義講

購買入札  
朝鮮總督府  
購買入札  
朝鮮總督府

建築講習會  
集募員會・期學新  
建築講習會 集募員會・期學新

公告  
全羅南道  
公告 全羅南道

## 新春

發行三週間に已に二萬部を賣盡し  
「新春」は春潮の勢を以て  
我日本に漲りつゝあり

## 新家庭

本誌の呼び物は杉村春樹の  
戀  
武禮の妻  
霧島仙の仙女  
海軍少佐の妻

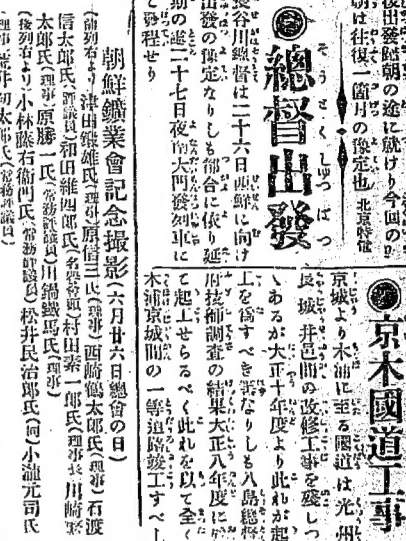
夏衣新柄  
見切及物  
大賣出  
京城 三越呉服店

大日本國民中學會  
大日本國民中學會



來れる小口落を弊害ありと認め  
 れが禁止を爲す筈なるが小口落の  
 方は法をと分別を願ふせば一司政はは病氣危篤也 以京特

は朝鮮にも外米を移入するの意圖をよべきや若之を敢行すると穀市場は茲に氣迷ひを生じ常用尙書院會計に於ては斯る餘裕有る



形のある、深さは地下四千幾  
 があつたと聞く、鐵脈は間々ボケ  
 に出た大金塊に一個四萬弗のもの  
 八曲より大坂東城間日本基督教會  
 に於て『求諸君已不求於人』の題  
 の下に講演を爲したり▲古城副官  
 目録表を勞働と實習召集

怒つて追返へした▲其後門下生

東京博文館  
東京市丸の内區  
本町二丁目一〇番

『女詩人』 小果 著  
『女詩人』 小果 著  
『女詩人』 小果 著

『女詩人』 小果 著  
『女詩人』 小果 著  
『女詩人』 小果 著

『女詩人』 小果 著  
『女詩人』 小果 著  
『女詩人』 小果 著

『女詩人』 小果 著  
『女詩人』 小果 著  
『女詩人』 小果 著

『女詩人』 小果 著  
『女詩人』 小果 著  
『女詩人』 小果 著

『女詩人』 小果 著  
『女詩人』 小果 著  
『女詩人』 小果 著

『女詩人』 小果 著  
『女詩人』 小果 著  
『女詩人』 小果 著

『女詩人』 小果 著  
『女詩人』 小果 著  
『女詩人』 小果 著

『女詩人』 小果 著  
『女詩人』 小果 著  
『女詩人』 小果 著

『女詩人』 小果 著  
『女詩人』 小果 著  
『女詩人』 小果 著

『女詩人』 小果 著  
『女詩人』 小果 著  
『女詩人』 小果 著

『女詩人』 小果 著  
『女詩人』 小果 著  
『女詩人』 小果 著

『女詩人』 小果 著  
『女詩人』 小果 著  
『女詩人』 小果 著

『女詩人』 小果 著  
『女詩人』 小果 著  
『女詩人』 小果 著

『女詩人』 小果 著  
『女詩人』 小果 著  
『女詩人』 小果 著

[illegible]



是等のタ  
▼資  
日も是  
當の財

日も是れ足らぬ有様で、も  
當の財産家が入京すれば此

開帳し六名は其の  
 として詐取手段を弄し其の  
 より一萬二千圓圖を詐取  
 つた而して是等の犯人を  
 の結果彼等の常套手段  
 の入りたるものにて内地  
 にも及ぶ奸策を弄し居るに  
 驚きを覚したるまでつら

天 勝 一 座

優待割引券  
ハ、廿九、卅日の三日間  
御持参御使用被下度候  
城日報社

東京 本橋角(橋)  
江戸 西川商店  
電話本局 九四  
一八三番 長九九  
一八四番 二六九  
振替 東京四四四  
乗の葉は御一帯水

小兒科  
呼吸器科

京坂本町三丁目  
吸器病  
陽病喘息  
ユマチス

試み其有効  
 用を怠る事  
 カルシユ  
 書に曰く  
 片片解半千  
 経験せら  
 互て之を自  
 鏡公

山田萬病丸  
山田萬

昨日自體に  
なる親し  
云々  
生査證明  
予は常時  
一ムの服  
らざるの  
ち子全  
之を服用  
め其効  
確解云々  
禽の樂座に

昨二八〇番



大阪 中谷 青霞

と一瞬は一躍より鋭い、雲涯律師からくく打笑ひ。

「はゝゝ、蛙は口からとやら、非發非道とはお身達のことぢやよ、續いて、女性を背後手に操り、狼藉をばめて何處へ連れ行く了簡が、先づ其仔細から聞かうぢやまで、逆答の次第によつては慈悲悲願の身中に相違はせぬ、かゝるめにも女性身を斯う痛くしるゝ憂目を見せるには、仔細なうては叶はぬ事ぢや、さ、それから語されい。」

王沈著き拂つた聲。

「何仔細あらうと世情に聞かす因縁はない、我等が要あつて連れ歸る女權合からシヤ、」

出で、紙ひ取つては取りも直さず物取り世を欺く類ひ、慈悲悲願の手に飾り世を欺く賣主の僧、稱め都つて空へ飛出す、さ覺めされ。」

「ぢゝそれは。」

「人を救ふは出家の役、若し此處に女性を殘して立去らば、乞食非人の輩が寺内に忍び入つたを見れば、寛大は見越しても遣はさう、なれど彼に事さよとあれば已むを得ない次第ぢや、さ丁度答せい、さ何うぢや。」

「有様恩僧が服に入つては今死ぬの人も助け得ますが沙門の道、ましに寺域に女性の身を掠奪がまじい行爲、救はたにあらぬれ、仕儀もや、助くるに二つはない、女性を助け得ますと云へば、お身達の短齋も見過がして助け得ますが、さもなくば是非に及ばぬ、身不付いれど、密院の住職、塔中の役僧、善數十人と呼び集め本意ならねど、おかしにして差出すまで、可う分別

命の母とはどんな薬か？

子宮は子供こどもの宮殿みやでんとも  
稱なづかへらるゝ位大切な隨所したがひどころで一面から  
中うちせは婦人の眞價まへだは子宮の完全にあることも云い得る事と出来た  
喉が其の大切な子宮は種々な原因から多様な病氣に罹りし御婦人三人寄れば必ず其の中の一入位は此のいまましき子宮病に罹つてあるとは情ない處して執拗くもせず婦人中子宮病ほど執拗くもせず怖ろしいものではなく若し本病に取付かれることまづ女としての生命を失ふに至る可なり直ちに注意を配へば前出の様にならず取り返しとりかへしの付かね大變な事になりますとして何より可愛い子實の出來ないのは皆この子宮病のためであつてかつては一家の幸福は勿論國家の大問題でありますが何にしへ子宮病は極めて頑固な癒治の病であり今から現代最も進歩せる科と稱せられず洋装でも本病に對しては是能の効を奏する譯には行かないので事であります然るに殊に多年

[illegible][illegible]

being prepared from the best materials by thoroughly scientific investigation, is absolutely free from all deleterious and is found in general tonics. It contains two powerful specifics: Quina and Iron, which have proved themselves the most efficacious remedies for regaining energy after sufferings from weakness, impotence, nervous, the blood, nervous diseases and general debilities in the organism. The wine is greatly nourishing to all people, without exception, whose mode of life, both physical and intellectual.

Mitsuya Quina-Iron Wine is very delicious and agreeable to take and moreover, easy to be absorbed and assimilated.

Price ¥ 1.50

[illegible]

病者の食慾を催進して營養を佳良ならしめ  
 治病の完壁を期し回春の喜を迎へしむべき  
 みつわ規那鐵葡萄酒

## MITSUWA GINSENG WINE

Mitsawa Ginseng Wine, being rich in the nutritive properties which build up vitality and force, is very delightful to taste and also pleasantly wholesome and nourishing to the weak and sick. By its use it has been found to speedily and effectively cure all ailments of the blood. Ginseng is joined in a well-balanced combination. Then it is assimilated completely and transformed, with the least possible tax on digestion, into the elements of active capacity and power. Mitsawa Ginseng Wine is especially adapted to the ailments of the blood, such as Bæmery, decline and loss of vitality, nervous blood, immaturity before and after delivery, Night apoplexy, Poor appetite, Indigestion, Poverty of blood, Hysteria.

Price 75 Cents

[illegible]

健者の物質代謝を旺盛ならしめ疲勞を除き  
 身體の強壯を圖り尙新活力を賦與し得べき  
 みつわ。にんじんぶどうしゆ

◎ボケツト日鮮語彙

◎ボケツト日鮮語彙

井上侯全傳 續編  
嚴接の研究百人一話高山房編輯  
公民年鑑 帝國教育會  
光と生物 雜誌 第一一

海嶺斷記加藤久野

鐵路西亞に遊び  
維生 門芥川氏之助  
教育 農政教育 養蠶工 小泉兵衛  
邦三郎

新式算術精講

本町大  
電話六八〇  
振替京城二

本店東京同店大連

百病進

帝國醫科大學病院

掲げ配せたる商賣藥なるを保證す者觀  
 迎へたる分拆料百圓  
 發見せば

著者  
 ちゆる治癒をなす  
 著者  
 死に拘り一変す  
 著者  
 東京市角一  
 著者  
 東京市角一  
 著者  
 東京市角一

にせ物  
 名、包、  
 低を識別  
 無印製  
 の文字無  
 御注記  
 凡て

大阪

鮮貨元  
東京日本橋通四丁目  
大坂三條橋北詰下  
京都南大門外停車場  
合資會社  
ドレッジ商會

支店  
長電話二五六七〇仙轉  
京城寶金町三丁目電事通〇  
龍山練兵場前停留場〇平  
釜山太田町二丁目〇仁川

大阪商船株式會社

汽船出帆廣  
仁川出帆

安 平丸	六月五日	後十
清津行	元山出帆	△日清丸 六月十七日 後十

大連出帆  
 釜山、鴨司、宇品、神戶、大  
 宮丸 五月三十日 後

北 米 行	濠 洲 行	內地各港出帆主要航路	基隆丸	五月一日	後
-------------	-------------	------------	-----	------	---

[illegible]

京城切符發賣所  
 內安通運合社發店  
 電話上

[illegible]